

2022年3月期 第1四半期
決算補足資料
(2021年4月 - 6月)

2021年8月10日



日医工株式会社

証券コード4541

< 日医エセグメント >

- 2021年3月期の上市品と岐阜工場の影響でプラス効果も見られたが、富山第一工場の出荷遅延などによるマイナス影響が大きく出た。

< Sagentセグメント >

- ローリー工場の稼働状況が改善
- カナダ市場におけるプロポフォル特需の発生
- 第1四半期で新規上市した5品目、および2021年3月期上市品の売上寄与

売上収益

429 億円

- (-) 国内GE売上 対前年 91.5%
- (-) 富山第一工場の出荷遅延
- (-) エルメッドの外部委託品
- (+) 岐阜工場の増収効果
- (+) 2021年3月期上市品の売上伸長
- (+) 米国GE売上 対前年 108.7%

コア営業利益

△ **39** 億円

- (+) 米国ローリー工場の稼働状況改善
- (-) 国内 薬価改定の影響（薬価引下げ率：△9.4%）
- (-) 富山第一工場の出荷数量減

親会社の所有者に帰属する
四半期利益

△ **37** 億円

(百万円)

	2021年3月期 第1四半期	売上比	2022年3月期 第1四半期	売上比	前期比
売上収益	45,265	-	42,943	-	94.9%
売上原価	37,178	82.1%	39,420	91.8%	106.0%
売上総利益	8,087	17.9%	3,523	8.2%	43.6%
販管費	6,712	14.8%	6,879	16.0%	102.5%
研究開発費	776	1.7%	790	1.8%	101.8%
その他の営業収益	76	0.2%	95	0.2%	125.0%
その他の営業費用	183	0.4%	73	0.2%	39.9%
コア営業利益	726	1.6%	-3,945	-	-
営業利益	491	1.1%	-4,124	-	-
税引前利益	494	1.1%	-3,611	-	-
親会社の所有者に 帰属する当期利益	290	0.6%	-3,777	-	-
設備投資	2,072		1,106		53.4%
研究開発投資	3,479		2,935		84.4%
減価償却費	3,042		3,094		101.7%

決算ベース

	日医工			Sagent			連結		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
売上収益	36,350	33,252	91.5%	8,914	9,690	108.7%	45,265	42,943	94.9%
売上原価	29,911	31,313	104.7%	7,266	8,106	111.6%	37,178	39,420	106.0%
原価率	82.3%	94.2%		81.5%	83.7%		82.1%	91.8%	
売上総利益	6,439	1,938	30.1%	1,648	1,584	96.1%	8,087	3,523	43.6%
粗利率	17.7%	5.8%		18.5%	16.3%		17.9%	8.2%	
販管費	4,935	5,241	106.2%	1,777	1,638	92.2%	6,712	6,879	102.5%
研究開発費	398	412	103.5%	378	377	99.7%	776	790	101.8%
その他の営業収益	79	87	110.1%	-3	8	-	76	95	125.0%
その他の営業費用	182	73	40.1%	0	-	-	183	73	39.9%
営業利益	1,002	-3,701	-	-511	-423	-	491	-4,124	-
営業利益率	2.8%	-11.1%		-5.7%	-4.4%		1.1%	-9.6%	

<期中平均為替レート (円/ドル) >

	2021年3月期	2022年3月期
第1四半期	107.62	109.49

コアベース

(百万円)

	日医工			Sagent			連結		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
売上収益	36,399	33,268	91.4%	8,914	9,690	108.7%	45,314	42,959	94.8%
売上原価	29,863	31,289	104.8%	7,266	8,106	111.6%	37,130	39,396	106.1%
原価率	82.0%	94.1%		81.5%	83.7%		81.9%	91.7%	
売上総利益	6,536	1,979	30.3%	1,648	1,584	96.1%	8,184	3,563	43.5%
粗利率	18.0%	5.9%		18.5%	16.3%		18.1%	8.3%	
販管費	4,797	5,102	106.4%	1,777	1,638	92.2%	6,574	6,740	102.5%
研究開発費	398	412	103.5%	378	377	99.7%	776	790	101.8%
その他の営業収益	79	87	110.1%	-3	8		76	95	125.0%
その他の営業費用	182	73	40.1%	0	-		183	73	39.9%
コア営業利益	1,237	-3,521		-511	-423		726	-3,945	
コア営業利益率	3.4%	-10.6%		-5.7%	-4.4%		1.6%	-9.2%	
※ コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因による損益（非経常項目）を除いて算出。									
営業利益	1,002	-3,701		-511	-423		491	-4,124	
営業利益率	2.8%	-11.1%		-5.7%	-4.4%		1.1%	-9.6%	

<期中平均為替レート（円/ドル）>

	2021年3月期	2022年3月期
第1四半期	107.62	109.49

(百万円)

内訳 (日医工グループ)	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前期比	
	実績	実績	増減額	前期比
GE	34,010	31,074	-2,935	91.4%
長期収載品	1,725	1,755	29	101.7%
その他	615	423	-192	68.8%
合計	36,350	33,252	-3,098	91.5%

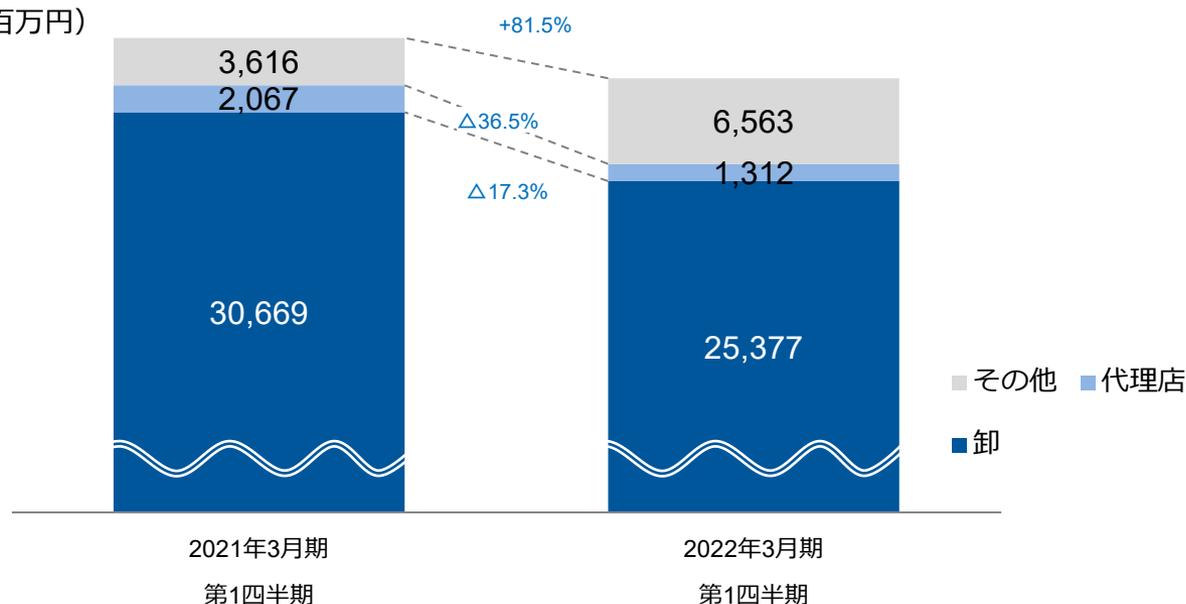
(百万円)

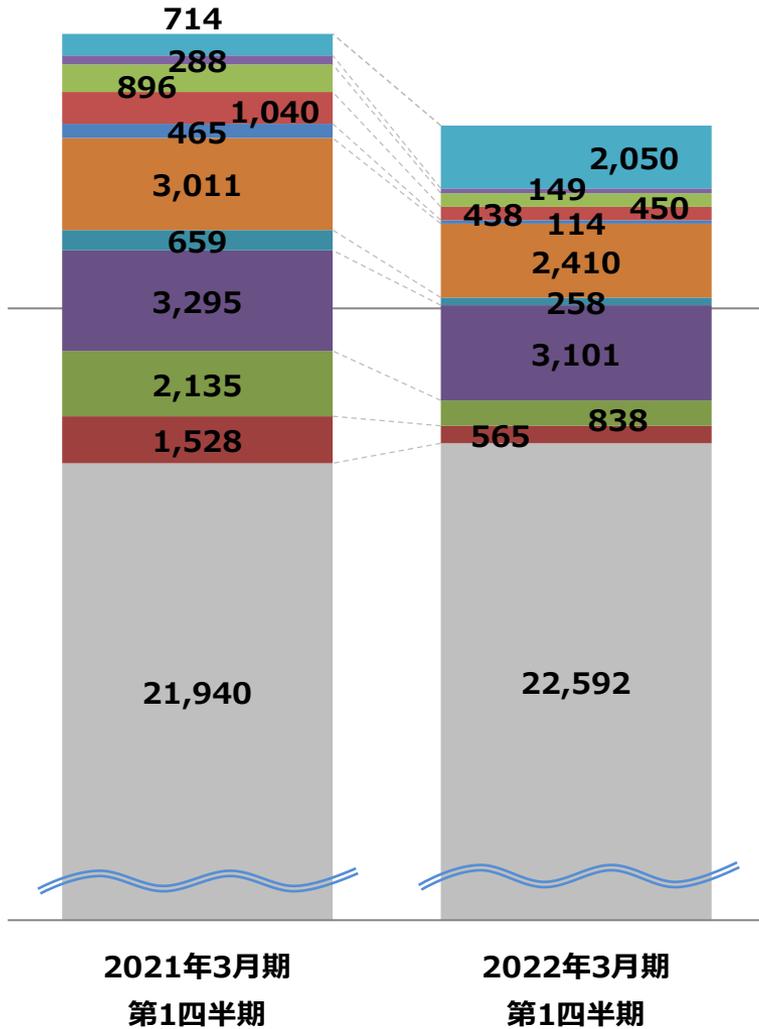


(百万円)

内訳 (日医工グループ)	2021年3月期 第1四半期		2022年3月期 第1四半期			
	実績		実績		前期比	
	売上	構成比	売上	構成比	増減額	前期比
卸	30,669	84.4%	25,377	76.3%	-5,292	82.7%
代理店	2,067	5.7%	1,312	3.9%	-755	63.5%
その他	3,616	9.9%	6,563	19.7%	2,947	181.5%
合計	36,350	100.0%	33,252	100.0%	-3,098	91.5%

(百万円)





(百万円)

収載年度	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前期比 増減額	前期比
2021年	-	-	-	-
2020年	714	2,050	1,336	287.1%
2019年	288	149	-139	51.7%
2018年	896	450	-446	50.2%
2017年	1,040	438	-602	42.1%
2016年	465	114	-351	24.5%
2015年	3,011	2,410	-601	80.0%
2014年	659	258	-401	39.2%
2013年	3,295	3,101	-194	94.1%
2012年	2,135	838	-1,297	39.3%
2011年	1,528	565	-963	37.0%
2010年以前	21,940	22,592	652	103.0%
合計	35,973	32,970	-3,003	91.7%

GEのみ		2021年3月期 第1四半期			2022年3月期 第1四半期				
		軒数	売上増減比	軒数増減比	軒数	売上増減比	軒数増減比		
全施設		109,667	89.4%	105.6%	109,214	71.8%	99.6%		
DPC対象病院		1,751	87.0%	100.1%	1,748	89.9%	99.8%		
調剤薬局		57,840	90.8%	101.3%	58,435	68.8%	101.0%		

全品目	全国軒数	2021年3月期 第1四半期		2022年3月期 第1四半期			前期比	
		売上構成比	軒数	売上構成比	軒数	カバー率	売上増減比	軒数増減比
全施設	-	100.0%	122,156	100.0%	120,454	-	72.8%	98.6%
病院	8,291	16.2%	8,168	19.6%	8,142	98.2%	87.9%	99.7%
DPC対象病院	1,789	10.7%	1,752	13.3%	1,751	97.9%	90.9%	99.9%
診療所	104,590	8.0%	55,996	8.5%	53,631	51.3%	77.1%	95.8%
調剤薬局	61,313	70.1%	57,992	66.8%	58,681	95.7%	69.3%	101.2%
その他	-	5.6%	-	5.1%	-	-	66.2%	-

- ◆ 国内外の業績および富山第一工場の生産および出荷の最新状況を反映
- ◆ 主力製品の出荷再開、および販売構成比の改善による限界利益率の増加を鑑みて、コア営業利益を修正

2022年3月期 業績予想(連結)

(百万円)	上半期 (今回公表)	下半期	通期 (当初)	通期 (今回修正)
売上収益	94,000	101,000	195,000	195,000
コア営業利益	△5,000	5,700	2,500	700
営業利益	△5,200	5,700	—	500
親会社の所有者に帰属する当期利益	△5,300	5,500	—	200

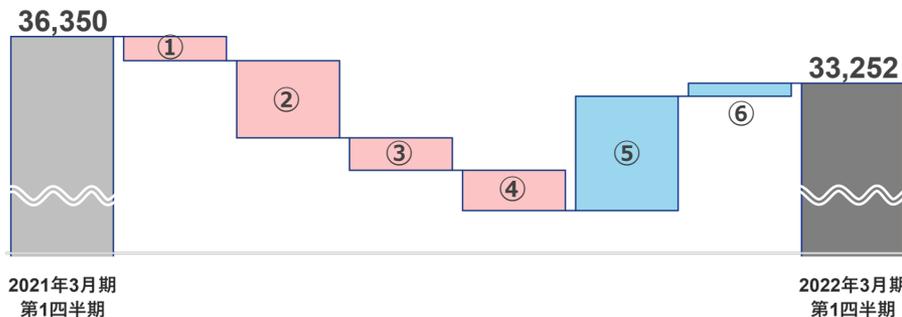
業績予想達成に向けて

- 「富山第一工場での生産および出荷再開」
- 「Sagentにおける新製品を中心とした売上伸長」
- 「岐阜工場の売上寄与」
- 「岐阜工場における富山第一工場からの代替生産増」

※ 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

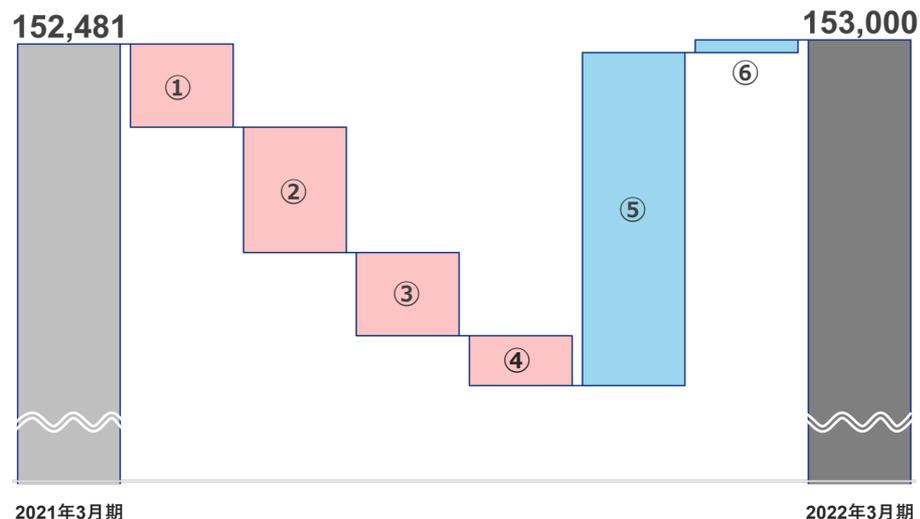
2022年3月期 第1四半期

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計

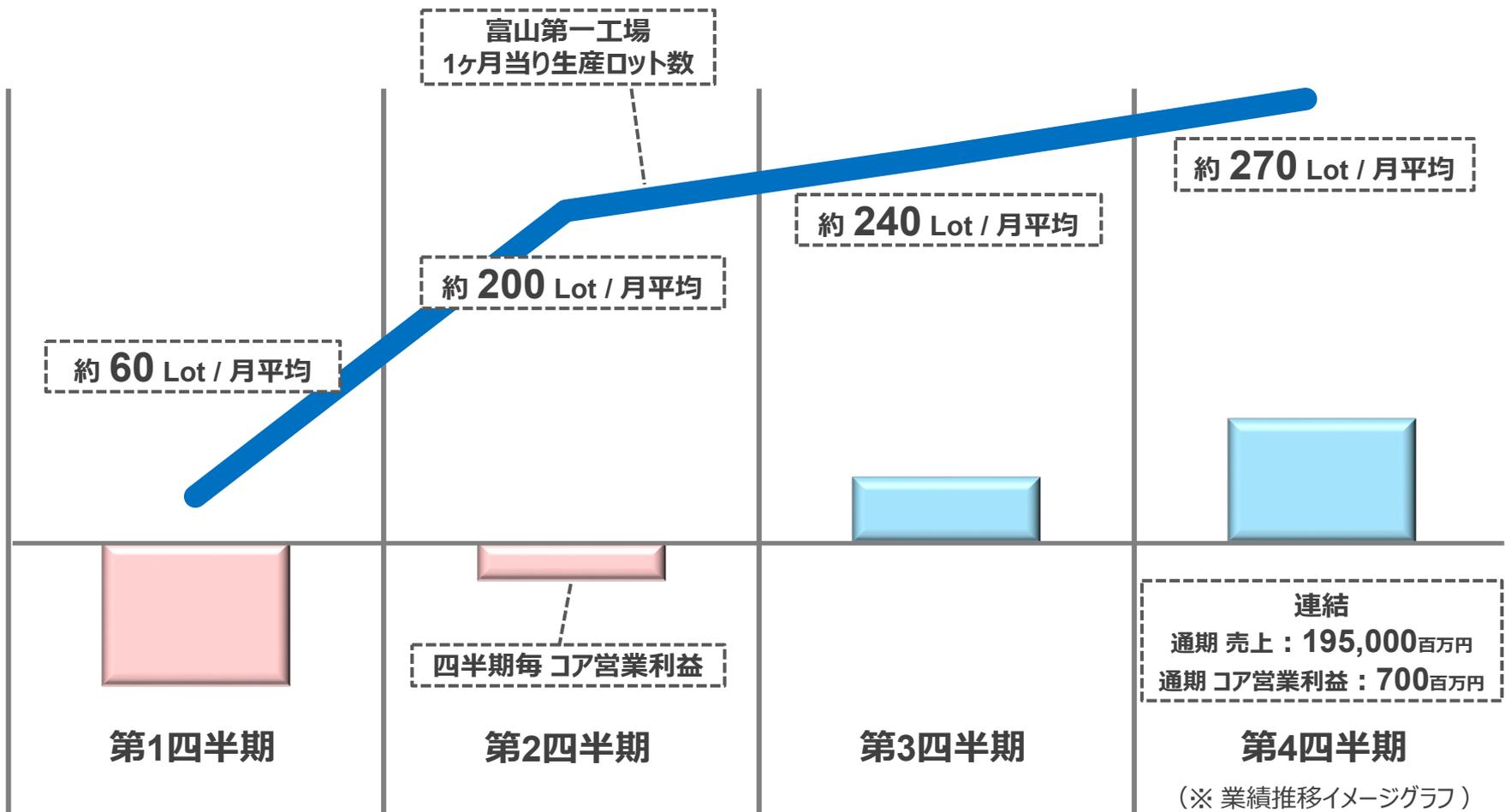


2022年3月期 通期業績予想

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計

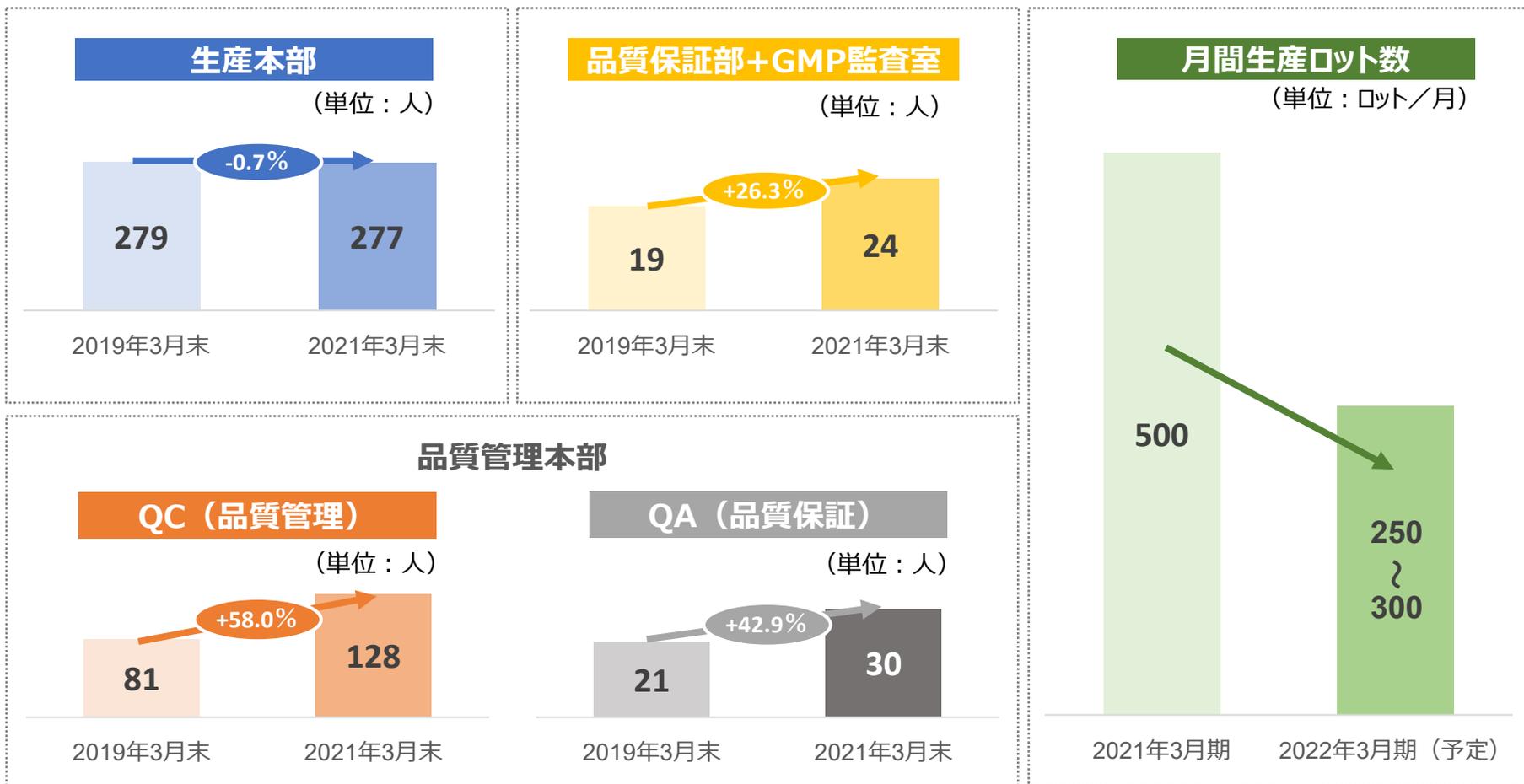


No.	項目名	2022年3月期 第1四半期時点	
		現状	通期での見込み
①	薬価改定影響	薬価低下品の売上により前同比で減収	薬価低下品目の売上数量が増えることにより、減収見込み
②	富山第一工場の製造及び出荷影響	通期でみると販売数量の減少幅は最大	出荷再開品の増加により減収幅が縮減する見込み
③	エルメッドの外部委託品影響	出荷及び販売が停止していることにより減収	通期で100億円の減収見込み
④	他減収要因合計	販売数量減やその他要因により減収	販売数量減やその他要因による減収幅は縮減する見込み
⑤	岐阜工場影響	順調な立ち上がりで増収	受託含めて400億円の増収見込み
⑥	2021年3月期上市品影響	フル寄与により増収	フル寄与により増収見込み



- 第1四半期は富山第一工場における生産・出荷数量が少なく、コア営業利益は前年と比較して大きくマイナスとなった。
- 7月以降生産および出荷数量は増加し、8月頃から大きく改善していく。それに伴い、コア営業利益は伸長する見通し。

富山工場では2019年3月末から2021年3月末にかけて、製造部門の人数はほぼ横ばいである一方、QCは+58%、QAは+43%、品質保証部(GMP監査室含む)は+26%と大幅に増員しております



さらに富山第一工場の月間生産ロット数を約 500 ロット (2021年3月期時点) から 250~300 ロット (2022年3月期計画) に抑えることで、確かな製造管理・品質管理を実現してまいります

注意事項

本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり 潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おき下さい。

本資料に関するお問い合わせ先

日医工株式会社
社長室 コーポレート・コミュニケーション部
TEL. 076-442-7026
E-mail ir@nichiiiko.co.jp